

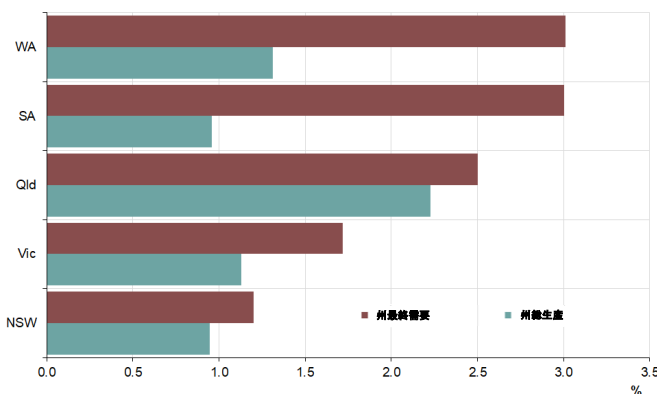
西オーストラリア州関連データハイライト

- 西オーストラリア州の州総生産は 2024-25 年に 1.3%増加し、州最終需要は 3.0%増加した。
- パース CPI 年間インフレ率は 10 月に 0.7 パーcentageポイント低下して 4.3%となった。
- 西オーストラリア州の賃金上昇率は第 3 四半期に前年比 4.0%に上昇した一方、失業率は 10 月に 4.1%に低下した。
- Cotality (旧 CoreLogic) のパース住宅価格指数は 11 月に 2.4%上昇した。

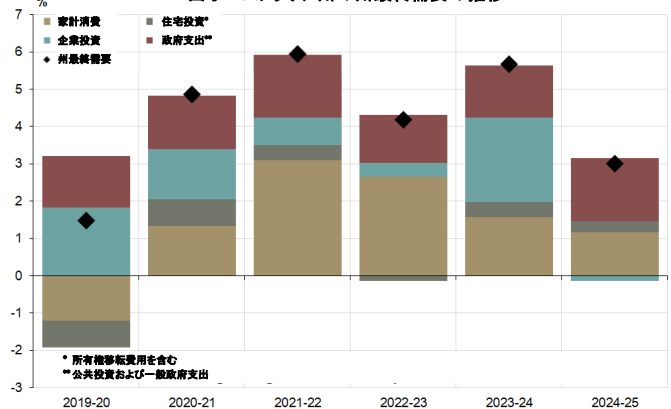
2024-25 年州総生産

- 西オーストラリア州の州総生産 (GSP) は 2024-25 年に 1.3%増加し、これは前年に記録した 1.2%とほぼ同ペースであった。
- 2024-25 年の GSP 成長を促したのが国内要因で、州最終需要は本土全州の中で最も高い 3.0%増となったものの、2023-24 年の 5.7%増からは少々鈍化した。
- 国内支出構成要素の大半が 2024-25 年の成長に寄与した。
- 民間消費は 2.4%増で前年の 3.1%を少々下回ったが、それでもタスマニア州の 0.6%増やクイーンズランド州の 1.3%増など他州の数値を大きく上回っていた。多大な貢献をしたのが、家賃およびその他住宅サービス、輸送、娯楽および文化、「その他財およびサービス」であった。電気、ガスおよびその他の燃料は 2024-25 年の民間消費増を押し下げた唯一のカテゴリで、これは州および連邦のエネルギー料金救済措置に基づく電気代自己負担額の減少を反映したものだ。
- 住宅投資増は 0.4 パーcentageポイント増で 6.2%となり、今も続く旺盛な住宅需要に支えられたこの数値は過去 10 年間で最も大きな伸びであった。関連する支出カテゴリで前年は 13.7%増だった所有権移転費用は 2.5%増であった。
- 一方、企業投資は 0.7%減少し、鉄鉱石、重要鉱物、LNG への鉱業投資に促された前会計年度の 11.9%増後の一服となった。
- 一般政府支出は 2024-25 年に 6.0%増と堅調な伸びを見せた一方、公共投資は輸送および医療インフラに対する支出を反映した 9.6%増となった。
- 前年と同様に、外部要因が 2024-25 年の GSP 増を押し下げた。これは財およびサービス輸出の 4.5%減、そして影響は小さいものの観光を中心とするサービスを唯一の促進要因とする輸入の 1.0%増を反映していた。
- 2024-25 年はほぼすべての業種が成長または横ばいで、唯一の例外は 0.6%減の鉱業であった。14.6%というもっとも高い伸びを記録したのが、前年の穀物収穫期が豊作に恵まれた農林水産業であった。しかし、5.8%増と幾分落ち着いた数値ながら 2024-25 年の GSP 増に最も貢献したのは、経済に占めるシェアが比較的大きい医療および社会教育であった。

2024-2025 年の州総生産および州最終需要の推移



西オーストラリア州の州最終需要の推移



オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	3.60	(0 pt)	AUD/USD	0.6550	(↑0.1%)
90 日銀行手形	3.66	(↑3 pt)	AUD/JPY	102.30	(↑1.5%)
連邦政府 3 年国債	3.87	(↑27 pt)			
連邦政府 10 年国債	4.51	(↑22 pt)	ASX200	8614	(↓268 pt)

市場概況

- オーストラリア国債利回りは 11 月に大幅に上昇したが、これは 10 月のインフレおよび労働市場データを踏まえた RBA による政策金利引下げに対する期待の喪失を反映したものであった。11 月中旬に発表された 10 月の労働力調査によれば、国内雇用は堅調に増加した一方、11 月下旬に初めて発表された詳細な 10 月度 CPI は予想外の上昇を見せ、トリム平均年間インフレ率は RBA が掲げる目標バンド 2-3%を上回った。
- 国債利回りの上昇はイールドカーブのフロントエンドで幾分顕著だったが、10 年物利回りも米国の 10 年債とは対照的に着実な上昇を見せた。
- 豪ドルは 11 月に米ドルおよび日本円に対して上昇したが、これは米政府閉鎖終了後の世界市場における楽観主義の復活に支えられたものであった。豪ドルの上昇は日本円に対して特に大きく、AUD/JPY は 2024 年 11 月以降の最高レベルで月を終えた。
- 世界的な市場センチメントの改善にもかかわらず、ASX200 は 11 月に金融政策緩和に対する期待の喪失に引きずられる形で 3.0%下落した。最も大きな下落は情報技術部門でみられた一方、金融や不動産など金利敏感部門も大幅な下落を見せた。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り		AGS スプレッド	
	2025 年 11 月 28 日		2025 年 11 月 28 日	
2026 年 10 月 21 日	3.72	(↑17 pt)	+2 pt	(↑5 pt)
2027 年 10 月 21 日	3.89	(↑26 pt)	+8 pt	(↓1 pt)
2028 年 7 月 20 日	4.00	(↑28 pt)	+16 pt	(0 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.15	(↑30 pt)	+23 pt	(0 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.32	(↑30 pt)	+26 pt	(↓2 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.45	(↑29 pt)	+28 pt	(↓1 pt)
2032 年 7 月 21 日	4.56	(↑26 pt)	+33 pt	(↑1 pt)
2033 年 7 月 20 日	4.72	(↑27 pt)	+40 pt	(↑5 pt)
2034 年 10 月 24 日	4.94	(↑25 pt)	+47 pt	(↑1 pt)
2035 年 10 月 24 日	4.99	(↑25 pt)	+48 pt	(↑3 pt)
2037 年 10 月 21 日	5.24	(↑24 pt)	+61 pt	(↑4 pt)

